

2007年の天文現象

明石市立天文科学館

今年の天文現象をまとめました。8月のペルセウス座流星群と皆既月食、12月のふたご座流星群と火星の接近など、見所の多い一年です。

1月

4日 しぶんぎ座流星群 極大

月明かりのため、観測条件は良くない。

2月

8日 水星・東方最大離角

水星が日の入後の西空に観測しやすい。

11日 土星 衝 (しし座)

土星が真夜中に南中。観測の好機。

3月

4日 皆既月食

九州、四国、中国で月が欠けたまま沈むようすが観測できる。明石では観測できない

19日 部分日食

九州、四国(南東部を除く)、中国、近畿北西部東北地方北西部、北海道(南東部を除く)でわずかに欠ける。明石では観測できない。

22日 水星・西方最大離角

日の出前の東空に観測しやすい。

4月

14日 火星食

火星が月に隠される「火星食」が昼に起こる

23日 こと座流星群 極大

月明かりの影響がなく観測好機。
出現予測数は、1時間 15個。

5月

6日 みずがめ座 流星群 極大

月明かりの影響があるので観測条件はあまりよくない。出現予測数は 1時間に 10個。

6月

2日 水星 東方最大離角

水星が日の入後の西空に観測しやすい。

6日 木星 衝 (さそり座)

木星が真夜中に南中する。観測の好機。

9日 金星 東方最大離角

金星が日の入後の西空に観測しやすい。

19日 土星食

土星が月に隠される「土星食」が昼に起こる。

7月

11日 すばる食

すばるが月に隠される「すばる食」が未明に観測できる。

12日 金星 最大光度

金星が明るく日の入前も見ることが可能。

8月

13日 ペルセウス座流星群 極大

月明かりの影響がないので観測条件はたいへんよい。出現予測数 1時間に 60個。

28日 皆既月食

17時51分 月の出前に月食開始

18時29分 月の出(明石)

18時52分 皆既月食 開始

20時23分 皆既月食 終了

21時24分 月食終了

9月

11日 部分日食 南米で。日本から見えない。

24日 金星 最大光度

金星が明るく日の出後も見ることが可能。

25日 中秋の名月

30日 水星・東方最大離角

水星が日の入後の西空に観測しやすい。

10月

7日 月・金星・土星・レグルス集合

22日 オリオン座流星群

月明かりの影響があるが、2006年は1時間当たり80個ほどの予想外の大出現。注目したい。

29日 金星・西方最大離角

金星が日の出後の東空に観測しやすい。

11月

3日 おうし座流星群 極大

数は多くないが、よく明るい流星が出現する。

18日 しし座流星群 極大

あまり期待されていない。

12月

13日 ふたご座流星群 極大

月明かりの影響がないので観測条件はたいへんよい。出現予測数 1時間に 80個。

19日 火星最接近 視直径 15.9"

25日 火星 衝 (ふたご座)

2年ぶりに火星が地球に接近。接近距離 8817万 km。火星観測の好機。

参考文献

天文年鑑 2007年 (誠文堂新光社発行)

2007年国立天文台カレンダー(国立天文台発行)